

平成27年9月関東・東北豪雨により河川の大規模な氾濫が発生し、茨城県、栃木県及び福島県を中心に大きな被害が発生した。

特に大きな被害となった茨城県では、9/10(木)に最大で避難所が299か所開設され、10,390人が避難する状況※となった。ドコモは無料充電コーナーの設置など避難所支援に取り組んだ。

ドコモの通信設備は、豪雨に伴う伝送路断や停電により基地局のサービス中断が発生し、茨城県常総市周辺では面的なサービス中断が発生した。この被害に対し、全国から復旧機材を集約した広域支援により早期復旧に取り組んだ。

※内閣府データより

避難所支援の様様

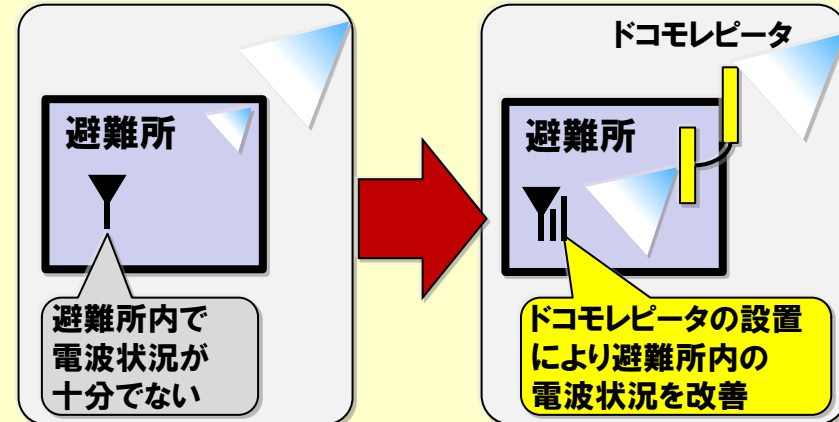
避難所への無料充電サービス

避難生活については、家族等との安否確認連絡などに携帯電話が重要な役割を果たしている。避難所での通信確保のため、各避難所へ集合型充電器による無料充電コーナーの設置を実施。さらに、定期的(2日に1回程度)に避難所を巡回し、現地の要望に応じてACアダプタや携帯電話の貸出も実施するなど、きめ細かい支援に努めた。



避難所のエリア改善

各避難所の電波状況を現地にて確認し、避難所内で電波状況が十分でない箇所へは、ドコモレピータの設置による屋内エリアの改善を実施。



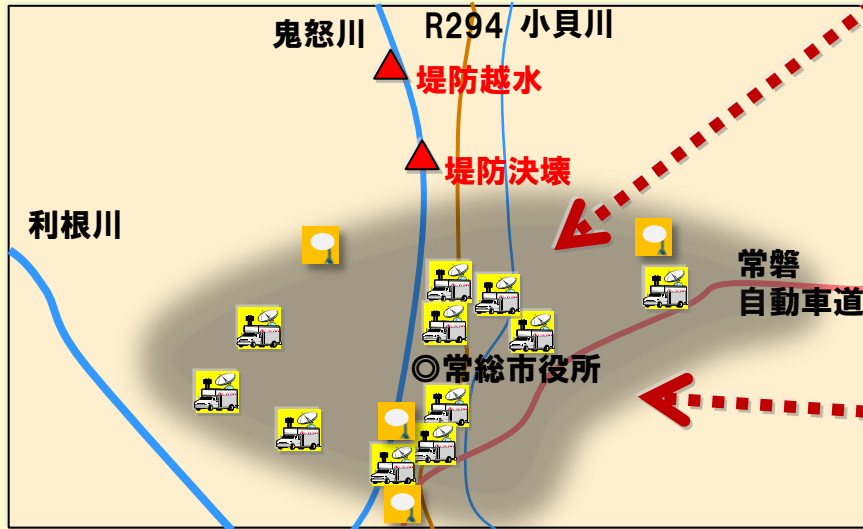
ドコモレピータ概要

https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/radio/radio_support/solution/repeater/index.html

設備復旧の様相

①茨城県常総市周辺

鬼怒川の堤防決壊に伴い、茨城県常総市周辺で面的なサービス中断が発生した。被災エリアにおいて市役所等の重要施設の通信を確保するため、大規模なエリア復旧措置を実施。



例1：広域支援

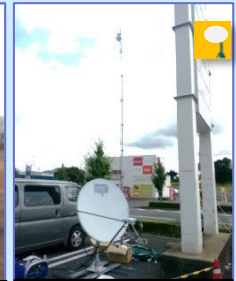
被災エリアを迅速に復旧させるため、衛星エントランス搭載移動基地局車を全国から集約させて措置を実施。

(関東甲信越以外の支社から計10台)

また、可搬型衛星エントランス基地局を周辺の支店から集約させて復旧措置を実施。



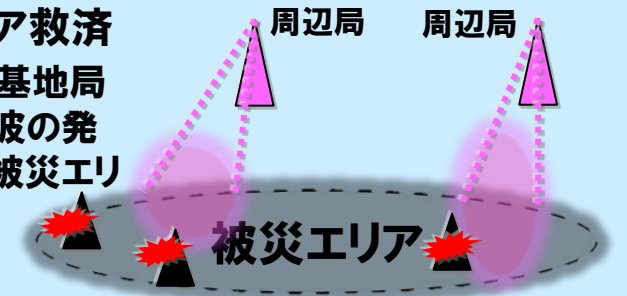
広域支援
〔衛星エントランス搭載移動基地局車〕



周辺支店から支援
〔可搬型衛星エントランス基地局〕

例2：周辺局からのエリア救済

周辺の被災していない基地局のアンテナを調整して電波の発射方向を広げることで、被災エリアの救済を実施。



②栃木県日光市周辺

土砂崩れ、倒木により基地局が損壊。応急復旧のために、衛星エントランス搭載移動基地局車にて被災エリアの救済を実施。



基地局が損壊

衛星エントランス搭載移動基地局車



③福島県南会津町周辺

周辺道路の損壊による通行止めに伴い、伝送路断によりサービス中断した基地局の復旧が行えない状況。民間ヘリコプターを活用し、現地へ復旧機材を空輸することで、早期復旧の措置を行った。



衛星エントランスを空輸して現地の復旧措置を実施